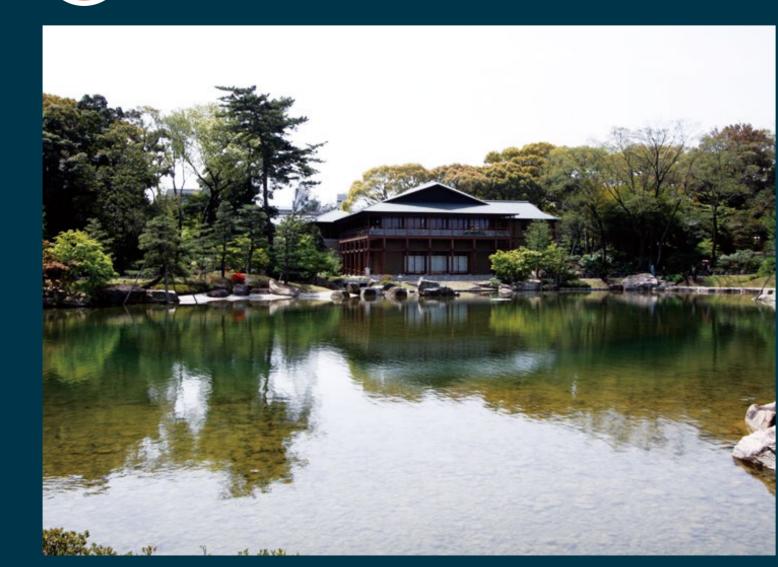




尾張徳川家62万石の居城で昭和5年に国宝 第一号に指定された名古屋のシンボル。近世城郭 御殿の最高傑作と呼ばれた本丸御殿が、10年 の歳月をかけて400年前の姿に復元。2018年 6月8日に完成公開。



大名庭園の様式である池泉回遊式の日本庭園。 徳川園では、四季を彩る花々が楽しめる。高低差 の大きな地形、既存のまま取り入れた樹林など 様々な特徴があり、日本の自然景観を魅力的 かつ象徴的に凝縮している。



正式には北野山真福寺寶生院。大須観音と呼ば れ親しまれている。慶長17年(1612年)徳川 家康公が美濃国大須庄から写した寺。本堂は 戦災焼失したが、昭和45年に再建。毎月18日・ 28日の縁日には骨董市を開催している。



名古屋のシンボル、テレビ塔。「恋人の聖地」や 「日本夜景遺産」に認定され、地上90mのスカイ デッキ、100mのスカイバルコニーからは、御嶽、 白山などの山並みや市内一遠を一望できる。 日本で最初に建てられた集約電波塔。



子どもから大人まで楽しみながら科学にふれる ことができる総合科学館。世界最大のプラネタ リウム「Brother Earth」のほか、約240種類 の展示を楽しめる。サイエンスショーをはじめ とした実演・実験を毎日行っている。



名古屋の城下を流れる堀川。その西側にあって、 江戸時代の初め慶長15年(1610年)名古屋城 築城とともに始まった清須越にともなってつくら れた商人町。道路幅を四間(約7メートル)に 広げたので、その名前がついたといわれている。



「日本の女優第1号」として名をはせた川上貞奴 (さだやっこ)が、電力王とよばれた福沢桃介と ともに1920年から5年ほど暮らした和洋折衷 の建物。郷土ゆかりの文学資料や貞奴・桃介に 関する資料などを展示公開している。



世界最大の能楽堂。舞台は総木曽檜づくり。定例 公演時にイヤホンガイド(日本語・英語)を無料 にて実施。能楽の歴史などについて紹介する 展示室あり。月に4~5日能舞台施設を公開して いて幽玄の世界を存分に楽しめる。